



通山コミュニティだより

令和4年8月発行 (第2号)

『誰もが生き活きと住み暮らせるまち通山』

～～～ 協議会会長あいさつ ～～～



本格的な夏を迎え、暑い日が続きますが、皆様には、お健やかに
お過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より通山校
区コミュニティ協議会活動にご理解とご協力を賜り、まことにあ
りがとうございます。

さて、本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症対策に万全
を期して4月24日に開催。令和3年度の事業活動・決算及び
令和4年度の事業計画(案)・予算(案)について、賛成多数で承認
していただきました。

本年度も「誰もが生き活きと住み暮らせるまち通山」という将
来像を目標に、校区の皆様力になれますよう、会長として尽力してまいります
ので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年度事業報告

令和2年度に続き、新型コロナ感染症まん延防止の為様々な活動が制限され、計
画していた事業が中止になるなど十分な活動が出来ませんでした。その様な中
でも感染予防対策を施し、参加者もそれぞれが工夫しながら以下の事業を開催する事
が出来ました。(校区主催行事のみ掲載)

日程	事業	担当部会
4/25	通山校区コミュニティ協議会設立総会	協議会
5/13	6/8 近隣福祉ネットワーク会議	健康福祉部会
6/19	土曜体験広場「環境学習」講師；窪健一先生	青少年部会
7/24	土曜体験広場「ウミガメ教室」講師；西山繁美先生 読み聞かせグループたんぼぼによる紙芝居	青少年部会
7/25	校区ふれあいグラウンドゴルフ大会	健康福祉部会
8/1	海岸清掃	ふるさと創生防災部会
8/16	8/16・9/11 ウミガメ放流体験	青少年部会
8/8	10/24・12/21・12/22 飛砂防備保安林整備作業(草払い作業)	ふるさと創生防災部会
11/11	あんしんあんぜんネットワークセミナー	健康福祉部会
11/27	松林内道路・浜堤防草払い	ふるさと創生防災部会
12/23	サンキョーミート立ち入り調査	協議会
1/1	新年拝賀式(押切海岸)	協議会
1/15	松林内トーチカ周囲の草払い作業	ふるさと創生防災部会
1/16	ウォーキング大会(兼、津波避難訓練)	健康福祉・青少年部会
2/11	飛砂防備保安林整備作業(抵抗性松苗植樹)	ふるさと創生防災部会

- 6月・11月；花いっぱい運動実施
- 8月；東九州自動車道 IC 通学路安全対策要望書提出
- 10月；共同生活援助事業リトル太陽「グループホーム松原」説明会
- 11月；志布志市とのパートナーシップ協定締結式
 - ※各地区での高齢者サロンは、当初は出来ないこともありましたが、感染対策など工夫しながら年間を通じて開催されました。
 - ※ころばん体操；市から委嘱された2名の方が、転倒予防を目的に地区公民館、青少年館で実施されています。



グラウンドゴルフ大会



海岸清掃の様子



環境学習会



ふるさとづくり委員会による松林整備作業

南日本新聞に掲載されました。

飛砂防備保安林として永年通山を守ってくれている松林が松くい虫により悲惨な状態になっています。その松林を再生する為の松苗の植樹作業の様子が取材を受けました。また、BTV ケーブルテレビも取材され、一緒に松苗植樹作業を体験されていました。

■ 志布志市と通山校区コミュニティ協議会がパートナーシップ協定締結

志布志市が進める施策の一環として、様々な人や組織がお互いを対等なパートナーとして認め、知恵と力を結集する「共生・協働による地域づくり」があり、市内全域で「地域コミュニティ協議会」の設立が進められています。

昨年11月1日、志布志市は、我が通山校区コミュニティ協議会と対等な立場で更なる地域自治と協働によるまちづくりを推進するためとしてパートナーシップ協定を締結しました。

また、当日は同じく令和3年度に設立された
 「新橋地区コミュニティ協議会」
 「潤ヶ野校区コミュニティ協議会」
 も同様に市と協定を締結されました。



■ 収支決算が承認されました

令和 3 年度収支決算と監事による監査報告がなされ承認されました。また、通山青少年館指定管理に係る収支状況について報告がなされました。

※ コミュニティ協議会創成支援補助金 250,000 円

(コミュニティ協議会を設立した校区に対し、創成期に相応しい支出を支援する為に人口規模に応じた補助金が 3 年間交付されます。本コミュニティ協議会は、初年度は備品として公印とノートパソコン、広報誌の印刷費用に充当しました。)



(定期総会風景 4.24)

■ コミュニティ協議会の有効な事業実施と利便性を目的として下記の備品を整備しました。

①カメラサーモマネージャー	青少年館入場時に非接触による検温が可能
②ラベルライター テブラ	各種ファイルや掲示物、備品ラベル作成用
③高速起動ラミネーター	ポスター、貼り紙などに両面フィルムを貼る事で保存性が高まります。
④液晶プロジェクター	スクリーンに画像を映し出します。様々なイベント等に活用できます。
⑤ノートパソコン	協議会の広報誌や各種文書作成、写真データの保存など活用します。
⑥スピーカーアンプマイクセット	会議や各種イベントに活用します。
⑦簡易型パネルステージ	主に通山小読み聞かせグループたんぼぼによる紙芝居の読み聞かせで活用します。

※各自治会等でポスター作成、イベント開催等で上記備品が必要な場合には貸出が可能です。所定の申請書類を記載して協議会会長までお申し込み下さい。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



■ 令和4年度事業計画について

総会において承認された事業計画は以下の通りです。

◇ふるさと創生防災部会

- 海岸清掃（5月、7月）
- 花いっぱい運動（6月、11月）
- 飛砂防備保安林整備作業（8月、10月、2月）
- 十五夜祭り（9月）
- コスモス祭参加（11月）
- 通山フェスティバル（11月）
- 自主防災訓練（11月）
- サンキョーミート視察（12月）
- 新年拝賀式（元日）

◇青少年部会

- 土曜体験広場（年9回開催）
- 夏休みラジオ体操（7・8月）
- ウミガメ放流体験（8・9月）

◇健康福祉部会

- 高齢者ふれあいサロン ◇押切東公民館：毎月第1月曜日、
◇通山集会所：毎月第4月曜日 ◇肆部合公民館：毎月第4木曜日
- 近隣福祉ネットワーク見守り活動（通年）
- ころばん体操（通年）
- ふれあいグラウンドゴルフ大会（7/17・2/19）
- 敬老祝賀会（9月各自治会にて）
- 体育祭（10/30日）
- 歩こう会（1月15日、青少年部合同）
- ふれあいゴルフ大会（年2回）

■ 令和4年度収支予算について

総会において承認された今年度の収支予算は以下の通りです。

収 入		支 出	
1 繰入金 ※	365,998 円	1 総務費	2,096,000 円
2 会 費	917,730 円	2 事業費	2,508,300 円
3 補助金等	2,078,400 円	(1)ふるさと創生防災部会	910,000 円
4 寄付金等	5,000 円	(2)青少年部会	580,000 円
5 繰越金	1,779,548 円	(3)健康福祉部会	1,018,300 円
6 雑収入	324 円	3 予備費	542,700 円
合 計	5,147,000 円	合 計	5,147,000 円

※1 繰入金は、青少年館の指定管理料の前年度の残金です。

■ こども見守り隊について

校区内に暮らす子供達の安全安心の為、地域の方々に「こども見守り隊」として日常的に見守りを行って頂きたいと考えています。通学時や帰宅時、子供達に不審に思われずに気軽に声かけが行えるようにユニフォームを準備しました。PTA 関係者や自治会の役員の皆さまに貸与させて頂きますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、見守り活動やさまざまな機会に



のぼり旗を立てて、コミュニティ協議会活動の周知を図ってまいります。

*「見守り隊」募集に関する案内書と登録申込書を別途準備いたしますので、協力していただける方は奮ってお申込み下さい。

♪話し合い活動について♪

当協議会の三役及び各部会の部会長等と地域支援員が参加する役員会、また、自治会や各種団体の代表者が参加する三つの部会の会議で、各種行事や校区内の福祉に関することなど話し合いを行っています。皆さまがお住いの地域での困りごとなどがありましたら、自治会長さんを通じて、または、役員に直接でも結構ですのでご相談ください。

*SNSによる情報発信も行っていますのでご覧ください。

役員会での様子



Facebook



Instagram

【ふるさと創生防災部】

◎海岸清掃を実施しました

5月21日(土)8時から通山・押切海岸線のゴミ拾いを実施しました。行政告知放送により市内全域にも案内して頂き、行政や地域住民等約50名の方が参加して下さいました。また、サーフィンに興じていた方々も数名応援をしてくれ、プラスチックごみ等多くのゴミを拾い、流木などの燃えるものはなるべく奥まで運んで燃やすなどの処理を行いました。

ウミガメが上陸しやすい海岸線の維持は簡単ではありませんが、大切な自然環境の維持、絶滅危惧種に指定されている希少生物の保護活動は、通山コミュ協として最も重要な活動の一つです。当日は、青少年部会の第1回土曜体験広場も開催され、西山青少年部会長が講師となって、ウミガメの卵の発見場所の特定や卵の掘り出し方等について模擬体験。子どもや保護者の方々も真剣に取り組んでいました。翌5月22日(日)午前8時から飛砂防備保安林整備作業として草払いを実施しました。



◎飛砂防備保安林整備作業を実施しました

今年度もふるさとづくり委員会を中心に松林の再生事業に取り組み始めました。昨年度の300本に続き、今年度も270本の抵抗性松の苗を植えるための準備と草払い作業を実施してまいります。松林は、浜砂が飛散して来るのを防ぐ役割と共に白砂青松の憩いの空間を我々に提供してくれます。折角の素晴らしい自然を後世に引き継いでいくためにもこの事業活動は継続していかなければなりません。通山校区コミュニティ協議会では、活動に参加して頂ける方を募集継続中です。是非一緒に活動しましょう！

【青少年部】

◎土曜体験広場

①6/19(日)通山小学校パソコ室にて通山小読み聞かせグループ「たんぽぽ」と志布志市ボランティアグループ「かみふうせん」による『紙芝居等による読み聞かせ会』開催。小中学生と幼児合わせて23名、保護者や役員合わせて53名が集いました。エプロンシアター、歌絵本、紙芝居、手話歌や仮装して大型絵本を使った読み聞かせ、ハンカチ落としゲーム等大変楽しい時間を共有することが出来ました。



エプロンの
ポッケには
何が？



校長先生
楽しそう♪



②7/16(土)志布志消防署に行ってきました。消防車両の見学や試乗、消防署内の施設見学、消防士の装備試着体験に目を輝かせ、はしご車の搭乗体験では子どもも大人も大喜び。貴重で有意義な時間を過ごすことができました。



③夏休みに入り、各地区で朝のラジオ体操を行っています。基本的に平日、休み期間の前後半の平日一週間程度実施します。老人クラブも一緒に久々の3世代交流が出来、高齢者の方からは「昔はこの校庭に大勢集まってやったものだ」と大変懐かしんでいらっしゃいました。



*写真はほりぐち前広場と通山小グラウンドです。

【健康福祉部】

◎7月17日(日)第1回ふれあいグラウンドゴルフ大会が、マスク着用と健康チェックをしっかりと行って開催されました。曇り空の絶好のグラウンドゴルフ日和の中、小学校の校庭とふれあい広場二つのコートを交互に利用してスコアを競いました。参加者は体調不良者もなく、和気あいあいとプレーされていました。競技の結果は以下の通りです。上位入賞の皆様、おめでとうございます(^_^)

実力発揮♥



順位	上級の部		初級の部	
優勝	中水 十	33打	蔵坪 益男	38打
2位	徳富 幸代	35打	下久保ひとみ	42打
3位	東苑 友子	36打	増田 優也	43打
4位	野口 嵐	37打	宮原 睦子	45打
5位	屋附 ナル子	38打	川崎 忠光	45打



降らず照らずのお天気で絶好のGG日和でした♪



無欲の一打 入れ!

◎近隣福祉ネットワーク会議（部会開催時に毎回会議実施）をご存じですか？6月13日(月)の健康福祉部会開催時に志布志市包括支援センター、社会福祉協議会から担当者が来られ、地域における「見守り活動の進め方について」、また、見守り活動の事例紹介として「地域づくりの視点による個別支援の事例」、有償ボランティアの買い物支援「おやっとサービス」について説明をしていただきました。また、地域高齢者サロンについては、ボランティアによる弁当配達や移動販売車による買い物支援の事例などが紹介されました。会議では、校区内の要援護者の実態や民生委員さんの関わりの状況が報告され、今後も各地域での要援護者に対する見守り、支援強化が必要になることが確認されています。会員の皆さま方のご協力もよろしくお願いいたします。

次回8月29日(月)の会議開催時には、下通山自治会をモデルにマップ作りが計画されています。

◎新たな事業として総会で承認された「校区ふれあいゴルフ大会」が下記の要領で開催されることが決定しました。参加者は4組16名の予定です。

日 時；7月31日(日) 午前8時開会式

場 所；大隅カントリークラブ

※競技の結果についてはコミュニティだより第3号でお知らせいたします。

◎今後の具体的な行事予定は以下の通りです。

通山校区体育祭：令和4年10月30日(日) 午前中開催 通山小校庭

☆通山は自然が豊富。今回はその自然を守る為、絶滅危惧種に指定されているウミガメや渡り鳥の観察や保護活動に一年を通して取り組まれている3名の方をご紹介します。

◇宮原 孝雄さん

鹿児島県から希少野生動植物保護推進員他を委嘱され、志布志市から委嘱のウミガメ保護監視員としてもウミガメが上陸するシーズンには毎朝早い時間に健康維持の散歩を兼ねて海岸線を調査して上陸の有無、そして産卵の有無を確認。その痕跡を確認すると産卵場所を特定し、西山青少年部会長(同ウミガメ保護監視員)に連絡して卵を保護して移設するという役目や、海岸線等に飛来する野鳥観察を行い種の保全の役目も担っていらっしゃいます。

(※おびただし数の写真も撮影されています。)

◇丸山 一さん

通山に限らず、大崎の横瀬海岸などにも足を運び野鳥保護活動に取り組まれ、市議会議員でもある“はじめさん”長年にわたって通山海岸の松林を再生する事業の中心メンバーとして取り組んでいらっしゃいます。志布志湾岸には絶滅危惧種のクロツラヘラサギやコアジサシなどの渡り鳥が飛来して卵を産み子育てします。タヌキやイタチ、カラスなどの外敵から守りながら子育てを済ませると、また、オーストラリアなどに旅立っていきます。さらに、同氏はいのししなど害獣対策の面でも忙しい毎日を過ごされています。夢は松林に松露などのキノコ類が復活すること。夢の実現に向けてまだまだ元気いっぱいです!!

◇西山 繁美さん

PTA、児童を中心とした通しかめん子クラブが発足した平成19年からウミガメの保護活動を続ける西山さんは、当時、活動の指導をされたウミガメ保護監視員の故大和さん(大崎町)の遺志を受け継ぎ活動に取り組まれています。カメの産卵確認と卵の掘り出し、その埋め替えや子ガメの放流に際し、通山小の児童に対して自然の大切さ、尊さを学んでもらうことを目標にした自然保護学習を実施。さらにSNSを駆使して新しい情報を発信し、カメの放流には遠く都城からも駆けつける親子がいらっしゃいます。通山コミュニティ協議会の青少年部会長としても活躍中です。

(※通山海岸は波の浸食が激しく、カメの卵が波にさらわれてしまう恐れがあるため、小学校の校庭にふ化場を造りました。)



砂浜の卵を掘り出して校庭のふ化場へ



コアジサシ



クロツラヘラサギ

《編集後記》

新型コロナウイルス感染症第7波により感染者数が増加し、全国的に最多感染者数を更新しています。私たちひとりひとりが感染予防をしっかりと意識して行動する必要がありますが、夏場の暑さはマスクを着用して乗り切るのはなかなか大変ですね。熱中症は、高齢者や子どもに限らず誰もが気が付かないうちに重症化する可能性があります。お互いに気を付けて、声かけ合いこの暑い夏を乗り切りましょう。



【発行責任者】
通山校区コミュニティ協議会
広報誌編集委員長・野村不二生
TEL 477-1295